

がんばろう行田!! 市議会議員(発言と行動する会)

ほそや美恵子 ニュースレター

増刊号

◎「陸王」や日本遺産登録され有名になった…これを次にどう生かす？

「陸王」による経済効果は1億5千万円とも言われていますが、どうでしょう？日本遺産に登録されたことは、どのような影響・経済効果を生んでいるのでしょうか？行田市に観光客を呼び、賑わいあふれる街にするには、もっともっと継続的な市外での宣伝活動が必要です。現在市内各所にのぼりや宣伝がされていますが、市外での活動はあまりされていません。宣伝する場所は行田市外とすべきです。私は、東京でもっと宣伝するよう指摘しています。



◎人口流出はどうすれば止められるか？

お祭り、観光による振興では人口の減少は止められません。本市にも子育て世帯定住促進政策がありますが、さらに行田ならではの対応が必要です。私は、総務省の移住促進政策と協業する、「ふるさと回帰支援センター」(有楽町)に何度も足を運び、センターと県の担当者たちに視察に来てもらい、本市執行部とも話し合う機会を作るなどしています。

◎行田市は鴻巣市・北本市と新しいごみ処理施設を計画中です。

現在の行田市小針から鴻巣市免許センター北側へ移す計画が進行中です。総工費などは未定ですが、3市で人口割とするため、行田市の負担もそれ相応にあります。行田市民の負担は単独での建設より軽くなる、というのが執行部の説明ですが、どうでしょうか？今になって付属施設として、ごみ処理の余熱を利用して、温泉施設？や温水プール？を建設することが、3市の市長の間で決定しました。そして、鴻巣の新施設周辺の道路も整備するということで、その費用も分担されます。また、この先の運転費用も含め未定です。さらに行田市民の今までのごみの収集方法の変更や有料化も十分予測できます。一方、現在の行田市のごみ処理施設はどうなっていくのでしょうか？地中に埋蔵されているごみの掘り出し処理費だけでも10数億円かかると試算されています。跡地は巨大な空き地になるのでしょうか？執行部はその利用計画については、まだ白紙であるとしています。新ごみ処理施設建設について、行田市民にとってどうすることが一番良いのか、情報を広く共有し、みんなですっきりと考えていかねばなりません。

◎小・中学生の学力調査の結果から、見直すべきものがあるのでは。

全校のトイレ改修・エアコン設置が終わり、教育環境は以前より良好となりました。しかし、学力調査の結果では未だに、県下63自治体の平均に及ばないとも言われています。ここ十年にわたって毎年、多額の予算(平成29年度は約1億3千万円)をかけて浮き城先生を加配し行っている少人数学級は、きめ細やかな対応には意味があるというものの、学力向上については、結果的に効果がなかったと教育委員会も認識しています。頑張る行田の子ども達のためには方向転換が必要なのではないか。教職員も頑張っている。では何が足りないのか？少人数学級は全能ではないというのが結論ではないでしょうか。家庭学習に問題ありと指摘した教育委員会は、その後何か工夫はされているのでしょうか？学童では？困窮家庭への学習支援事業では？不足しています。喫緊の課題です、部署を超えたオール行田の取り組みが必要です。

◎空き家・空き地バンクがスタート！困っている方は利用してみませんか。

全国に増え続ける空き家・空き地。行田市も深刻です。利用する人のない空き家と空き地。どんどん増えています。治安、景観からいっても所有者にとっても良いことはありません。私はこの問題を議会ですっきり取り上げてきました。そして、念願の空き家・空き地バンクがやっと、昨年10月末に始まりました。法律問題も絡む複雑な空き家空き地問題ですが、その解決に本市は近隣市に先駆けて乗り出しました。今や国を挙げての大事業になろうとしているバンク。本市のバンクの特徴は、専門家の無料相談を受けられ、権利関係等諸問題を整理してから登録するところにあります。これにより、売る方も買う方も、貸す方も借りる方も、後々のトラブルの心配が少なくなります。スタート2か月弱で、問い合わせ件数12件、ホームページ閲覧数369件、バンクへの申請件数3件、好調なスタートです。みなさんに広く、空き家・空き地バンクの存在を知っていただき、再活用を考えてみていただきたい。行田市のホームページでご覧ください。

◎デマンドタクシーが活躍しています。行田の交通をもっと便利に。

昨年4月からスタートしました。現在は75歳以上の方と障害手帳を持っている方を対象という制限はありますが、行田市においては画期的と評価されています。9月までの半年間で、利用件数は4,762件、登録者数は1,205人です。私は12月議会で、乗降できる場所を増やすこと、利用時間を延長すること等、についての見直しを随時やっていくべきと指摘しました。そして、さっそく乗降できるポイントが新たに増加することになりました。執行部の対応の早さも行政サービスの重要なことと評価します。今後ともみなさんの外出がより便利に、より楽になるよう改善を考え続けたいと思います。

◎免許証自主返納者のみなさん、特典を利用してください。

一昨年の9月議会で、私は高齢者の事故多発について取り上げました。そして「免許証の返納のきっかけづくりに特典を設けるべき」としました。さっそく、昨年の4月から始まった、タクシー初乗り券730円を24枚交付する特典。実際、これをきっかけに免許を返納された方も多い、と聞いています。しかし、半年経過した時点で1人当たりの平均利用枚数2.7枚。この特典は1年過ぎると失効してしまふ。残ったタクシー券は使えなくなってしまふ。そして、この特典は毎年申請し直さなければならない。せっかくの特典なのですが使い勝手が良くないのではないのか？デマンドタクシーにはなぜ使えないのか？私は一緒に使えるようにと本会議で取りあげ、検討するという答弁を得ました。今後もみなさんの使いやすさを第一に考えます。

◎議員定数を22名から20名へ、削減を実現！少数精鋭の議会を目指し！

みなさんの声を代表して本市の諸問題を議会等で議論し、行政を質していくのは、みなさんから選挙で選ばれた市議会議員の一番重要な仕事です。議員の定数を減らせば、それだけ市民の声が反映しにくくなる、市政へのチェック機能が低下する、と危惧する声も聞きます。議会は執行部が独走しないよう、不正や癒着が無いよう、しっかりと精査し監督して行かねばなりません。また、何でも反対するのではなく良いことは良いと賛成し協力していきます。議会の総意は、議員数は減っても、議員ひとりひとりが日々研さんを積み、勉強をし、質問や質疑を通して、議会を真剣な熱意あふれる議論の場にすることにあります。私はこれまでも増して、一般質問、質疑に力を入れていきます。

細谷美恵子 行田市荒木1019-3

☎ 048-598-8232 FAX 048-598-8234
HP miekohosoya.com ブログ ameblo.jp/mimi68/
Eメール miekohosoya@yahoo.co.jp

